## 組立説明書

## Dea＇s Shed Canna D125／Canna $\mathcal{f}$ D125

## ～ディーズシェッド カンナ D125／カンナ フォルテ D125～

このたびはDea＇s Garden製品をお買い上げいただき，ありがとうございます。正しく組立てをして頂くために，組立説明書をよくお読みください。
〈組立ての前に〉
施工の際には手袋を着用してください。怪我をする恐れがあります。
＊組立てには脚立が必要です。
－下記の工具が必要です。
○プラスドライバー ○水準器 ○モンキーレンチ ○電動ドリル $+\phi 5$ ドリル（オプション「棟」の取付けの場合に必要）
－組立てが不十分だと，強風などではずれる恐れがあります。この組立説明書に従い確実に固定してください。
強風時は，危険ですので施工しないでください。
－トラスタッピングねじ以外は電動ドライバーの使用を避けてください。斜め挿入やねじ切りの恐れがあります。


意匠部

| 梱包名称 | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :--- | ---: |
| D125屋根セット | D125用妻（右） | 1 |
|  | D125用妻（左） | 1 |
|  | 軒 | 1 |
|  | 側柱（右） | 1 |
|  | 則柱（左） | 1 |
| 柱セット | レンガ柱（右）もしくは石柱（右） | 1 |
|  | レンガ柱（左）もしくは石柱（左） | 1 |
|  | 木柱（右） | 1 |
|  | 木柱（左） | 1 |
| 扉セット | 扉（右） | 1 |
|  | 扉（左） | 1 |

部品セット［DSCH588］


カンナ把手セット［DRCF01A］／
カンナフォルテ把手セット［DRCF01B］

| 梱包名称 | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :--- | :---: |
| 把手 | 把手 | 2 |
| 把手座 | 把手座 | 2 |
| アクセサリー錠 | アクセサリー錠 | 1 |
| 把手用ねじセット | トラス小ねじ $\mathrm{M} 6 \times 50$ | 4 |
|  | 平ワッシャー 外径Ф18 | 4 |

施工寸法図（単位：mm）

｜｜建造物との取り合い
－建造物と基礎の間隔は下記の寸法以上離してください。
（下図は完成時に建造物との最小クリアランスを約30mmとした場合です。）
基礎については意匠上［レンガ］や［化粧ブロック］をお勧めします。


## ※推奨

一般に物置を設置する場合，土台としてコンクリ—トブロックを使用しますが，カンナの施工には市販のレンガや レンガ調化粧ブロックをお薦めします。
ここでは化粧ブロックを使用した施工手順を説明します。

## 基礎を作ります。

（1）図を参考にして設置する場所を決定します。
（2）地ならし・地固めをしたあと，化粧ブロックやコンクリートブロックなどをならべ，水準器 を用いて水平を調整します。
※アンカ一位置に掛かる部分のブロックは切断してください。

| 必要な部品•工具など |  |  |
| :--- | :--- | :---: |
| 化粧ブロックなど | 18 個程度 $(240 \times 114 \times 80$ の場合） |  |
| コンクリートブロックなど | 9個 |  |
| 水準器 |  |  |

※化粧ブロックやコンクリートブロックなどについては，

アンカーを外付け・内付けのどちらで取り付けるか（ 17 ページを参照）を決め， それに応じた施工をしてください。

別途ご用意ください。

| 梱包記号／梱包番号など | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :---: |
| アンカーセット | アンカープレート | 4 |

アンカーを外付けする場合（例）※アンカーを内付けする場合の図は，4ページをご覧ください。
－化粧ブロックの場合

※基礎寸法は下記の条件に もとづいて算出しております。
［設定条件］
風圧力は風速 $34 \mathrm{~m} / \mathrm{sec}$ ．を想定 かつ庫内に 100 kg の収納物が納められている場合


アンカーを内付けする場合（例）※アンカーを外付けする場合の図は，3ページをご覧ください。
－化粧ブロックの場合

－コンクリートブロックの場合
※基礎す法は下記の条件に もとづいて算出しております。
［設定条件］
風圧力は風速 $34 \mathrm{~m} / \mathrm{sec}$ ．を想定 かつ庫内に 100 kg の収納物が納められている場合


## 2 床枠と，床梁を組立てます。

（1）床枠（5）（右）⑥（左）に，床枠（1）（前）（2）（後）をかぶせ，六角ボルトで固定します。
（2）センターに8D125床梁をセットします。

| 梱包記号／梱包番号など |  | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :--- | :---: |
| DSCH081 | （1） | 床枠（前） | 1 |
|  | （2） | 床枠（後） | 1 |
|  | （5） | D125床枠（右） | 1 |
|  | （6） | D125床枠（左） | 1 |
|  | （8） | D125床梁 | 1 |
| D125本体組立ねじセット |  | 十字穴付六角ボルト M5×15 | 4 |



## 3 前柱を組立てます。

（11），（12）前柱を床枠（前）に六角ボルトで固定します。

| 梱包記号／梱包番号など |  | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :--- | :---: |
| DSCH082 | （11） | 前柱（右） | 1 |
|  | （12） | 前柱（左） | 1 |
| D125本体組立ねじセット | 十字穴付六角ボルト M5×15 | 6 |  |



## 4 厭枓を取付けます。

（13），（14）扉枠を，前柱の裏側から六角ボルトで，また，下部を表側から超低頭ねじで仮固定します。

このとき，（13），（14）扉枠を，それぞれ最も中央側に寄せた （間口を狭めた）状態で下部の超低頭ねじを締めてくだ さい。（下図 吹き出し参照）

十字穴付六角ボルト $\frac{\text { M5×15 }}{\text {（内側から）}}$

| 梱包記号／梱包番号など |  | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :--- | :---: |
| DSCH082 | （13） | 扉枠（右） | 1 |
|  | $(14)$ | 扉枠（左） | 1 |
| D125本体組立ねじセット | 十字穴付六角ボルト M5×15 | 6 |  |
|  | 超低頭ねじ M5×12 | 4 |  |



## 5 側壁を組立てます。

（1）（17），（18）側壁Bを前柱と，床枠（右，左）に六角 ボルトで固定します。


十字穴付六角ボルト
M5 $\times 15$

板ナットの使用方法
板ナットを $\square$ 穴から差し込み
タップ部を裏側○穴位置に合わせます。


> +字穴付六角ボルト
> M5 515

板ナット M5

板ナット M5
※特に壁の組立て時には電動ドライバーの使用 を避けてください。


## 6 奥壁を組立てます。

（19），（20）奥壁を側壁と，床枠（後）に六角ボルトで固定します。

| 梱包記号／梱包番号など |  | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :--- | :---: |
| DSCH087 | （19） | 奥壁（右） | 1 |
|  | $(20)$ | 奥壁（左） | 1 |
| D 125本体組立ねじセット | 十字穴付六角ボルト M5×15 | 12 |  |
|  | 板ナット M5 | 12 |  |



## 7 奥壁（右）（左）を連結します。

（36）奥壁ジョイントを，奥壁（右，左）の合わせ部に六

| 梱包記号／梱包番号など |  | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :--- | :---: |
| DSCH087 |  | （36） | 奥壁ジョイント | 1角ボルトで固定します。



## 8 後枠を組立てます。

（24）D125後枠を，奥壁の上部にかぶせ，六角ボルト

| 梱包記号／梱包番号など |  | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :--- | :---: |
| DSCH 584 | （24） | D125後枠 | 1 |
| D125本体組立ねじセット | 十字穴付六角ボルト $\mathrm{M} 5 \times 15$ | 6 |  | で固定します。



## 9 前枠に，先付け部品を取付けます。

（26）D125前枠にマグネットキャッチと，左扉ロック受けを六角ボルトで固定します。

| 梱包記号／梱包番号など |  | 部品名称 |
| :---: | :--- | :---: |
| 数量 |  |  |
| キャッ 584 | D125前枠 | 1 |
|  | プレート付マグネットキャッチ | 2 |
|  | 十字穴付六角ボルト M5×15 | 4 |
|  | 左扉ロック受け | 1 |
|  | 十字穴付六角ボルト M5×15 | 2 |



この穴（下側の穴）は使用しません


プレート付マグネットキャッチ

## 10 前枠を前柱に取付けます。

（26）D125前枠を前柱にかぶせ，六角ボルトと，超低頭ねじで固定します。
この時，前枠と扉枠とをぴったりと密着させ，隙間ができないようにしてください。（下図 吹き出し参照）

| 梱包記号／梱包番号など |  | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :--- | :---: |
| DSCH 584 |  | （26） | D 125前枠 |
| D D 125本体組立ねじセット | 十字穴付六角ボルト M5×15 | 6 |  |
|  | 超低頭ねじ M5×12 | 2 |  |



## 11 妻壁を組立てます。

（29）D125妻壁（右）と（30）D125妻壁（左）を側壁と，後枠に六角ボルトで固定します。

| 梱包記号／梱包番号など |  | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :--- | :---: |
| DSCH 585 | （29） | D125妻壁（右） | 1 |
|  | 30 | D125妻壁（左） | 1 |
| D125本体組立ねじセット | 十字穴付六角ボルト M5×15 | 10 |  |



## 12母屋を組立てます。

（21）D125母屋に，（22）D125母屋補強をはめ込んだ状態で（29，（30）妻壁に渡し，六角ボルトで固定します。 （ボルト位置が合わない場合は，母屋の前後が逆に なっていますので，正しい向きに直してください）

| 梱包記号／梱包番号など |  | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :--- | :---: |
| DSCH 584 | （21） | D125母屋 | 1 |
|  | （22） | D125母屋補強 | 1 |
| D125本体組立ねじセット |  | 十字穴付六角ボルト M5×15 | 2 |



## 13 屋根を組立てます。

（1）（35）D125屋根（中）を図の要領で後枠に差込み，内側より後枠と前枠および母屋に六角ボルト で固定します。
（2）（33）D125屋根（右），（34）D125屋根（左）をそれぞ れ（35）屋根（中）に，合わせ部を重ねた状態で後

| 梱包記号／梱包番号など |  | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :--- | :---: |
| DSCH 585 | （33） | D 125屋根（右） | 1 |
|  | $(35)$ | D 125屋根（中） | 1 |
|  | （34） | D125屋根（左） | 1 |
| D125本体組立ねじセット | 十字穴付六角ボルト M5×15 | 18 |  |枠に差込み，同様に六角ボルトで固定します。



十字穴付六角ボルト
M5×15
十字穴付六角ボルト M5×15
（34）D125屋根（左）

## 14 ヒンジ座を取付けます。

ヒンジ座を扉枠裏面にあてがい，超低頭ねじで固定します。この時，ヒンジ座は最も前側（手前側） の位置で固定してください。

| 梱包記号／梱包番号など | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :--- | :---: |
| ヒンジセット | ヒンジ座 | 4 |
|  | 超低頭ねじ | 8 |
|  | 平ワッシャー 外径 $\Phi 15$ | 8 |



## 15 ァジャスト用ねじを差込みます。

（1）トラス小ねじを，ヒンジ座裏面よりねじ込みます。この際，ねじが軽く止まる位置でねじ込みを終えてく ださい。
（2）トラス小ねじを，前枠裏面下図の位置にねじ込みます。同様に，ねじが軽く止まる位置で，ねじ込みを終えてください。

| 梱包記号／梱包番号など | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :---: |
| D125本体組立ねじセット | トラス小ねじ $\mathrm{M} 8 \times 14$ | 6 |

（26）D 125 前枠

トラス小ねじ M8×14

トラス小ねじ M8×14
※裏方向からの透視図です。

## 意匠部の組立方法

## 扉の取付け

1
扉にヒンジを取付けます。

| 梱包記号／梱包番号など | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :--- | :---: |
| 扉セット | 扉（右） | 1 |
|  | 扉（左） | 1 |
| ヒンジセット | ヒンジ | 4 |
|  | 皿小ねじ $\mathrm{M} 4 \times 12$ | 12 |



2 扉（右）（左）を取付けます。
（1）扉吊込み治具を扉枠下部に引掛けます。
（2）治具の上に扉吊元側を仮置きし，足で治具を軽く踏みながら ヒンジの穴位置を合わせ，皿ねじで固定します。
（3）扉吊込み治具は，使用後に所定の方法で廃棄してください。
（4）ステーを①扉，（2）本体の順に十字穴付六角ボルトで取付け ます。

| 梱包記号／梱包番号など | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :--- | :---: |
| ヒンジセット | 皿小ねじ M4×10 | 12 |
| 部品セット | 扉吊りこみ治具 | 1 |
| ステーセット | ステー | 右1，左1 |
|  | 十字穴付六角ボルト M5×15 | 8 |



## 3 扉の出入りと，上下の調整をします。

ヒンジ座の位置を調整する事によって，扉位置の調整を行ないます。下記の（1）～（3）の手順で行なってください。
（1）ヒンジ座を固定している超低頭ねじ（各ヒンジ座につき2本ずつ）を緩めます。
（2）ヒンジ座を前後，上下に動かして扉の位置調整をします。
〔ヒンジ座の裏面に付いているアジャスト用ねじ（トラス小ねじ）をねじ込むことによって，ヒンジ座を庫内側に移動できます〕
（3）2枚の扉の位置が決まれば（1）で緩めたねじを締めこみます。

※裏方向からの透視図です。

| 梱包記号／梱包番号など | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :---: |
| ヒンジセット | ヒンジスペーサー | 6 |

扉召し合わせ隙間の調整は，下記の（1）～（4）の手順で行ってください。
（1）扉枠（右，左）を固定しているねじ（片側につき超低頭ねじ 3本，十字穴付き六角ボルト3本）を緩めます。…下図（1）参照
（2）扉召し合わせ上部の隙間は，扉枠上部付近（内側）にあるアジャスト用ねじ（トラス小ねじ）を締めこむと広がります。…下図（2）参照
（3）扉召し合わせ下部の隙間は，扉枠下部付近（外側）にある長穴を使い，左右に微調整します。…下図（3）参照
（4）調整後，（1）で緩めたねじを締めこみます。
※超低頭ネジは，扉を45 開けた状態で，扉と扉枠の隙間からドライバーを入れて緩める
（2）ねじを締めると，召し合わせ
（2）上部の隙間が広がる

（1）内側からねじを緩める （十字穴付き六角ボルト）

（1）超低頭ねじを緩める

－召し合わせ隙間が $4 ~ 8 \mathrm{~mm}$ になるよう調整してください。上記の調整を行っても隙間が広すぎる場合は，
「ヒンジセット」に同梱されているヒンジスペーサ一を，ヒンジと扉枠との間に入れ てください。

－上記の調整を行なっても，扉召し合せが調整しきれないときは，基礎のレベルが出ていないことが考えられ ます。床枠の下に噛ませものをするなどして調整してください。
－調整後，扉を開閉し異音がする場合には，ヒンジ部に潤滑スプレーを少量吹きつけてください。

5 アンカー固定をします。
次の3種類の方法のどれかを利用して，アンカー固定を確実に行なってください。

| 梱包記号／梱包番号など | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :--- | :---: |
| アンカーセット | アンカープレート | 4 |
| D125本体組立ねじセット | 十字穴付六角ボルト M5×15 | 4 |

床枠内部にアンカー固定を行なう方法（一旦床板を取り外して作業を行います）


## 物置外部にアンカー固定を行なう方法



コンクリート土間などに直置きする場合のアンカー固定方法
コンクリート土間

## 柱の取付け

6 ェプトシーラとねじを取付けます。
（1）レンガ柱または石柱（左）（右），木柱（左）（右），側柱（左）（右）の金具にエプトシーラを貼ります。
（2）エプトシーラを貼った金具にねじを仮止めします。 ※ねじ頭がエプトシーラから少し浮く程度まで，ね じをねじ込んでください



7 レンガ柱（左）（右）を取付けます。 ねじを前柱のダルマ穴に差し込みます。 ※ねじは，まだ増締めしないでください。

8 木柱（左）（右）を取付けます。
ねじを奥パネルと側パネルのダルマ穴に差し込みます。 ※ねじは，まだ増締めしないでください。
$9_{\text {側柱（左）（右）を取付けます。 }}$
ねじを側パネルのダルマ穴に差し込みます。 ※ねじは，まだ増締めしないでください。

木柱（左）

側柱（左）

※（L），Rシールの向きで，部品の上下を判断します。

図花台（オプション）を取付ける場合 は，レンガ柱を取付ける前に取付け てください。

【棟（オプション）をつける場合】棟を取付けます。

| 图包番号 |  | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :--- | :--- | :--- |
| オプション | 棟 |  | 1 |

（1）24）後枠のセンターにあるマーキングの位置にド リルで $\phi 5$ の穴をあけます。
（2）棟を屋根に引っ掛け，後枠の後ろにかぶせます。 ※まだねじで固定しないでください。


## 妻の取付け

11 妻（左）（右）の前側にねじ類を取付けます。 ※ナットをモンキーレンチなどでしっかりと締めてく ださい。


| 梱包名称 | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :--- | :---: |
| D125屋根セット | D125用妻（右） | 1 |
|  | D125用妻（左） | 1 |
| 妻取付ビスセット | 六角トリマーセムスねじM5×25 | 2 |
|  | ナベ小ねじM8×16 | 2 |
|  | 平ワッシャー 外径 $\phi 18$ | 2 |
|  | ナットM5 | 2 |
|  | ナットM8 | 2 |

12 妻（左）（右）を下図1，2の順で取付けます。
（1）妻（左）（右）を屋根に引っ掛けて取付けます。
（2）妻を後方に止まるまで押し，位置を揃えます。
※まだねじで固定しないでください。


## 軒の取付け

13 軒を取付けます。
軒のツバを屋根に引っ掛け，妻のねじと軒のねじ穴を

| 梱包名称 | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :---: |
| D125屋根セット | 軒 | 1 |合わせ，はめ込みます。



軒の左右を蝶ナットで固定します。 ※上部のねじのみ締め付けます。

| 梱包名称 | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :--- | :---: |
| 軒取付ビスセット | 蝶ナットM5 | 2 |
|  | 平ワッシャー 外径 $\phi 19$ | 2 |



## 各所の固定

【棟（オプション）をつける場合】
棟を固定します。

| 梱包名称 | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :---: |
| 棟取付ビスセット | トラスタッピングねじ $\phi 4 \times 14$ | 1 |



室内

16 妻（左）（右）と軒を下図1，2，3の順で固定 します。
室内からトラスタッピングねじで固定します。

| 梱包名称 | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :---: |
| 妻取付ビスセットレ゙ $\phi 4 \times 14$ | 8 |  |
|  | トラスタッピングね | 平ワッシャー 外径 $\phi 14$ |
|  | 平ワッシャー 外径 $\phi 25$ | 4 |
| 軒取付ビスセット | トラスタッピングねじ $\phi 4 \times 14$ | 2 |



17 レンガ柱（左）（右），木柱（左）（右）を固定します。
室内からそれぞれの柱のトラスタッピングねじを増締めします（計 $30 ヶ$ ヶ所）。


## 扉の組立て

18 キャッチ受け金具を取付けます。
キャッチ受け金具を扉（左）（右）に取付けます。

| 梱包名称 | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :--- | :---: |
| キャッチ／ねじセット | キャッチ受け金具 | 2 |
|  | 皿小ねじM3 $\times 10$ | 4 |



19 扉（左）に 左扉ロックを取付け，左扉ロック受けの位置を調整します。

| 梱包名称 | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :---: |
| 左扉ロックセット | 左扉ロック | 1 |
|  | 小頭血小ねじ M4×15 | 4 |



扉を閉めた時にロックがかけられるように，左扉ロック受けの位置を調整します。

20 扉（左）（右）に把手を取付けます。
※アクセサリー錠は，扉（左）にのみ取付けます。

| 梱包名称 | 部品名称 | 数量 |
| :--- | :--- | :---: |
| カンナ把手セット／ <br> カンナフォルテ把手セット | 把手 | 2 |
|  | 把手座 | 2 |
|  | アクセサリ—錠 | 1 |
|  | トラスねじ M6×50 | 4 |
|  | 平ワッシャー 外径 $\phi 18$ | 4 |



21扉（左）（右）の内側に5連フックを取付け ます。

| 梱包名称 | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :--- | :---: |
| 5連フックセット | 5連フック | 2 |



22 9）床板Aと（10）床板Bをはめ込みます。

| 梱包記号／梱包番号など |  | 部品名称 |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
| DSCH582 | 数量 |  |  |
|  | （10） | 床板 A | 床板 B |

穴が左奥になるようにはめ込みます


## 23 <br> 棚支柱を取付けます。

（1）37）棚支柱（前）の下部の引掛け部を床板の切り込みに噛ませ て固定します。
（2）38棚支柱（上）の奥側の突起を，奥パネルジョイントの穴に差し込み，六角ボルトで固定します。

| 梱包記号／图包番号など |  | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :--- | :---: |
| DSCH087 | （37） | 棚支柱（前） | 1 |
|  | （38） | 棚支柱（上） | 1 |
| D70本体組立ねじセット | 十字穴付六角ボルト M5×15 | 2 |  |

（3）（37）棚支柱（前）と 38 棚支柱（上）を六角ボルトで固定します。


24
棚支柱に棚受ダボを取付け，棚板をセットします。
（1）棚を取付ける高さのダルマ穴に，棚受ダボを差し込みます。
（2）棚板をのせます。棚板の切り欠き部分が，棚受ダボにはまり込 んでいるのを確認してください。

| 梱包記号／梱包番号など |  | 部品名称 | 数量 |  |  |  |  |
| :---: | :---: | :--- | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| DSCH 085 | （39 | 棚板 | 4 |  |  |  |  |
| 棚受ダボセット |  |  |  |  |  | 棚受ダボ | 16 |



棚受ダボの取り付け方
ダルマ穴の広い部分に棚受ダボを差し込み，狭い部分に溝をスライドさせます。

25 取り外し穴キャップを取付けます。
（1）取り外し穴キャップを，床板と床枠（右，左）にはめ込みます。

| 梱包記号／梱包番号など | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :---: | :---: |
| キャップセット | 取り外し穴キャップ | 4 |



## 26 転倒防止用フックを取付けます。

| 梱包名称 | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :--- | :---: |
| フックセット | 転倒防止用フック | 2 |
|  | トラス小ねじ（アイボリー）M5×8 | 4 |



## 【転倒防止用フックを取り付けない場合】

アンカーと転倒防止用フックとの併用をお薦めしますが，転倒防止用 フックを取り付けない場合は，トラス小ねじで穴を塞ぎ，内側から袋 ナットをしめます。

| 梱包名称 | 部品名称 | 数量 |
| :---: | :--- | :---: |
| フックセット | トラス小ねじ（アイボリー）M5×8 | 4 |
|  | 袋ナット M5 | 4 |



## オプションの取付け

27 【ナブション楽1
下記オプションの取付けが可能です。
－フラワーハンガー
－ツールハンガー

- 花台
- 棟
－グラスランプ
※各種オプションの取付け方法については，
それぞれに付属の取付説明書をご覧ください。


## 工事店様へ

- 改造，変更はしないでください。
- 組立て終了後，ねじ類の締まり具合を確認してください。
- 組立て終了後，組立説明書，取扱説明書は御施主様にお渡しください。


## 御施主様へ

- 普段のお手入れは濡らした布でお拭きください。
- 汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めて使用し，洗剂が残らないように拭き取ってください。
- シンナー，ベンジン等の溶剤のご使用は，絶対にお止めください。塗装に影響が出る恐れがあります。 －この製品はFRP部品を使用しています。廃棄する場合，地方自治体の定める方法で処理してください。 －法定の焼却設備で焼却すれば，ダイオキシンなどの環境污染物は発生しません。小型焼却炉などでの自家焼却処理は避けてください。

